

第23期第7回常任理事会議事録

日時：昭和60年3月23日（土）10：00～14：30

場所：気象庁観測部会議室

出席者：山元，松本，田宮，土屋，花房，松野，浅井，
山岸，能登，河村，春日，広田

議事

1. 昭和60年度総会等の式次第について
検討の結果了承
2. 昭和60年度予算（案）について
2次（案）について全理事の意見を求めたが、特に意見はなかった。したがって、この案を基本として予算（案）を作成し、次回常任理事会で決定することにした。
3. 昭和59年度事業報告（案）について
担当理事より内容説明が行われた。案の一部を修正のうえ全理事の意見を求め、次回常任理事会で決定することが了承された。
4. 昭和60年度事業計画（案）について
担当理事より内容説明が行われた。案の一部を修正のうえ全理事の意見を求め、次回常任理事会で決定することが了承された。
5. 第13期日本学術会議会員候補者の選考経過および結果について
天気掲載を検討し、決定した。4月号に掲載する。
6. 常任理事の辞任申し出とそのその補充等について
(1) 次回の常任理事会で検討することとなった。
(2) 庶務担当理事の正副交替が承認された。
正 花房理事
副 田宮理事
7. 第13期日本学術会議気象研究連絡委員会の委員の推薦について
次のようにすることにした。
(1) 気象学研連9名，地物研連1名計10名を推薦する。
(2) 推薦委員会を設け、候補者を選考する。
(3) 委員は浅井，竹内，松本，山元各理事とし、必要があれば追加する。
(4) 5月の理事会で報告を受け、決定する。
8. 学会賞，藤原賞について
(1) 担当の広田理事から学会賞，藤原賞の選考経過

説明があった。

- (2) 庶務担当理事から委員会の報告が2月の常任理事会に間に合わなかったので、3月上旬個別連絡の結果、全理事の投票を行うことが承認された旨報告があった。

- (3) 投票の結果が報告され、次のとおり決定された。
学会賞

木田秀次会員：大気大循環モデルを用いた物質輸送の研究

宮原三郎会員：下部熱圏における大気潮汐波動と平均流の相互作用に関する理論的研究

藤原賞

岸保勘三郎会員：日本の気象学の発展と国際協力の推進に尽した功績

9. 山本賞について

松野理事から山本賞受賞者選定規定の一部改訂（現在の2月選考・総会授与を、8月選考・秋季大会授与とする）が提案された。

審議の結果、これをとり入れることとし、5月の総会に提案することが決定された。

10. 名誉会員制度について

11. 弔事内規について

いずれも継続審議とすることで了承された。

12. 核戦争阻止，核兵器廃絶を求める決議について

3名の会員から、このことについて理事会として総会に提案するよう要請があった。

活発な議論が行われたが学会員による研究実績がないこと、学会として何らかの行動をとれる見通しのないこと、学会の場で議論することが適当かどうかについて多様な考えがあり、現在ではまとまらないことなどから理事会としては提案しないことにした。しかしながら、重要な問題であり、例えばinformal meeting等を開いて議論するなどの方法も考えて行く必要があるということになった。

13. 会員の新規加入について

個人会員飯沼 孝ほか12名の新規加入が承認された。